

3年B組 道徳学習指導案

指導者 萩山 知治

- 1 日時（場所） 12月8日（水）11：35～12：20
- 2 主題名 「差別や偏見に負けない」 主として C－(11) 公正・公平、社会正義
- 3 資料名 「パン一つ買えない日本」 香川県 高松市立太田中学校2年 藤村 勇斗
第36回全国中学生人権作文コンテスト入賞作文集より

4 主題設定の理由

(1) 生徒の実態について

本校では、道徳教育の重点目標である「他者との関わりの中で、考えを深め、判断し、表現する力を持った生徒の育成」に力を入れている。本学級の生徒は、誰に対しても差別することや偏見を持つことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めることの大切さについて学んでる。しかし、時に不正な行動があっても、周囲の目を意識するあまり、多数の意見に同調したり、傍観したりするなど、正しく行動することができないことがある。

(2) ねらいとする価値について

公平で公正な社会の実現のためには、差別をしたり偏見をもったりしてはいけない。このことは多くの人間が自覚していることである。しかし、中学生の時期は、自己中心的な考え方や偏った見方をしてしまい、他者に対して不公平な態度をとる場合がある。また、学年が上がるにつれ、社会の在り方についても目を向け始め、現実の社会における矛盾や葛藤、さらに、差別や偏見といった社会的な問題を見聞きすることも多くなる。したがって、学校生活の様々な場面をとらえて、自分の弱さに向き合い、不正を憎み、不正な言動を断固として否定する強い気持ちを持たせることが必要だと考える。

(3) 資料について

本資料は、全国人権擁護委員連合会会長賞を受賞した香川県の高松市立太田中学校2年生の人権作文である。顔半分が腫れ上がった母と一緒にパンを買いに行ったときに、店内で親子が受けたことを綴ったもので、母に対する悪口や、やりのような視線、そして一度はその場から逃げた作者が自分の弱い心や差別に打ち勝ち、パンを購入するに至った経緯についてまとめられている。その言葉は、作者が問いかける平等であることの意味や人として生きる権利を語るエネルギーにあふれており、読み手は心揺さぶられる。作者が感じた差別とそれを克服する姿について考えることにより、人権とは何かを意識させ、差別や偏見のない平等な社会を築こうとする心情を育てることができる資料であると考えられる。

5 本時の指導

(1) ねらい

「僕を、再び店内に向かわせたものは何だろう。」について考えることにより、人としての権利とは何かを意識させ、誰に対しても公正に接し、差別や偏見のない社会を築こうとする心情を育てる。

(2) 「深い学び」の実現に向けた指導の工夫について

道徳の授業において、「深い学び」を実現するための要素の一つに資料がある。生徒が感動を覚え、それを基にした話合いの中で道徳的価値の自覚を深めるとともに、よりよい生き方について深く考えられる資料を開発した。また、作者本人からのビデオレターを紹介することで、本実践で獲得した価値理解をさらに深めさせ、道徳的実践意欲の向上につながるよう工夫した。このような資料開発は、毎月17日を「道徳い～なの日」とする「朝の道徳」の実践にも取り入れている。二つ目は、内面を可視化する板書の工夫である。生徒の思考が見える形で表しながら話し合いを進めていく。互いの考えを比較したり、自分と似ている意見や同じ意見を持つ級友の考えの根拠や理由を聞いたりすることで、思考の変容や深まりを期待したい。

(3) 本時の展開

学習の流れ (形態)	時間 (分)	○教師の働きかけ・予想される生徒の反応	○指導の工夫 ◎評価規準(評価方法)
1 資料について話し合う。 (個人) ↓ (全体)	12	僕が、再び店内に向かったことをどう思いますか。(賛成・反対) <賛成>・・・座標平面の項目 ・自分たちは悪いことをしていない ・差別や偏見に負けてはいけない ・このままでは母がかawaiiそう <反対>・・・座標平面の項目 ・余計に軽蔑される、ひどくなる ・これ以上母を傷つけない ・相手にしないほうが賢明、無駄な労力	○事前に資料を読ませておく。 ○内面の可視化を図るために、座標平面に意思表示させる。 ○「反対」の意見が少ない場合は、「僕は何も迷わなかったのだろうか」と聞く。
(個人) ↓ (班) ↓ (全体)	18	僕を、再び店内に向かわせたものは何だろう。 ・見目で判断されて悔しい ・差別や偏見への怒り、許せない ・自分は悪くない、正義を通したい ・ここで動かないと後悔する ・一度周りの雰囲気を負けたという事実 ・母を守りたい、安心させたい、母への愛 ・母の涙を無駄にできない	○授業展開や道徳的価値の高まりを板書に矢印で可視化する。 ○座標軸を基にした立場から、理由や根拠を吟味させる。 ○母親に対する意見が少ない場合は、「ごめんよ」「お金を渡すから」に触れる。
(個人) ↓ (全体)	8	私なら、再び店内に向かうだろうか？ <自分もそうする>・・・座標平面の項目 ・正しいことは正しく行動したい ・非難していた人を見返したい ・差別や偏見に負けたくない ・母が謝っていることの理不尽 <自分はそうしない>・・・座標平面の項目 ・これ以上ひどくなると耐えられない ・怖くて動けない、傷つきたくない ・今だけ我慢していれば何とかなる ・この状況から離れることで母を守りたい	○内面の変化を丁寧に見取るために、座標平面に新たな項目を付け加え、意思表示させる。 ○「自分もそうする」の意見が多い場合、「思ったことをそのまま実行できるのだろうか」と聞く。
2 藤村くんからのビデオレターを見る。(全体)	5		
3 本時の振り返りをする。(個人→全体)	5	○これから大切にしたい生き方や、主人公の僕から学んだことは何だろう。 ・自分に正直に納得できる生き方 ・自分の考えを貫き通したい ・勇気を持って正しく行動したい ・差別や偏見に最後は打ち勝ちたい	◎藤村くんの行動や話を通して、差別や偏見、正義について考えを深め、目指したい生き方について考えることができたか。(発言・ワークシート)
4 教師の説話を聞く。	2		

